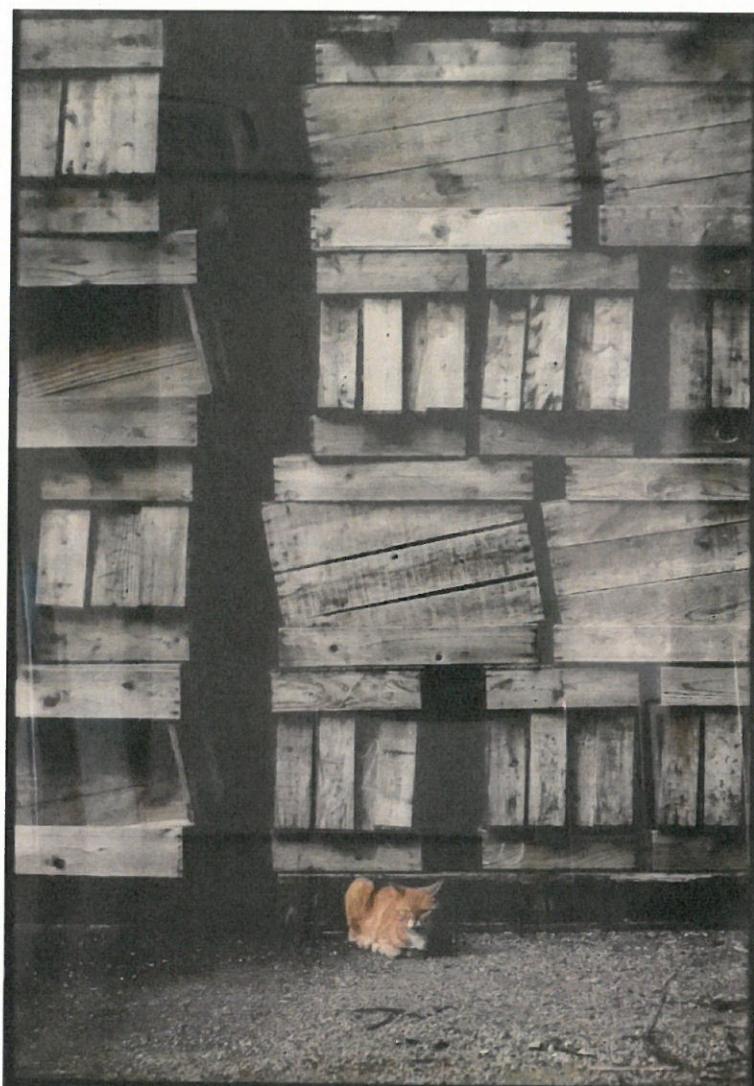


# 平成28年度山口市美術展覧会講評

## 大賞

「昼下り」

吉田 崇宏



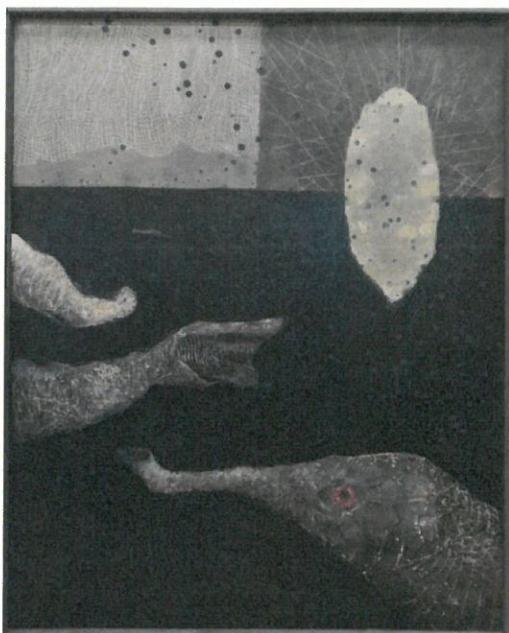
積み上げられた木箱の傍らに、ふっくらと猫が存在している。近づいてよく見ると、猫からは可愛らしさや愛嬌というよりは、むしろふてぶてしさを感じる。小さな存在であるが、作品全体を方向づける大きな存在感を示している。捉えられた空間は、程よいコントラストに仕上げられ、構図もしっかりと考えられている。同時に、そこに存在した瞬間を見事にすくい取っている。傍観者として眺めるもよし、あるいは猫の気持ちとなり佇むもよし、それぞれが昼下りに想いを馳せ、その世界観を楽しむことができる秀逸な作品である。

(倉田 研治)

## 準大賞

「黄泉の国へ…漂うカカ。」

井岡 義朋



この暗い画面には不思議と惹き付ける魅力がある。溶いた絵の具を塗っては乾かし塗っては乾かしと、何度も塗り重ねられた画面はベニアが油を吸い取ったのか、蝶を塗り重ねた様なマットな表情になり、骨董の焼物の様な魅力が感じられる。スクラッチで描かれた「カカ」と云う未知なる生物あるいは精霊が地下深くの泉に漂っており、作者を待ち構えている様にも感じられる。審査後、昨年一昨年大賞受賞者と聞いた。これまでの評価されたスタイルに執着せず、新しい試みを続ける作者の取り組みを見習いたい。

(原井 輝明)

## 山口市教育委員会賞

「Uターン」

岡本 公一

捉えられたのは、集積された缶ゴミでありリサイクル待ちといったところだろうか。タイトルから缶ゴミは擬人化され、単なるリサイクルとは異なったメッセージを感じることができる。高密度に圧縮された缶からは、個々としても全体としても、息苦しい現代の縮図のような側面を感じさせる。しかし、画面全体からは鮮やかな色彩が広がり、被写体がゴミであるにもかかわらず美しさが創出されている。向けられた眼差しは、個や社会、環境へと感性を刺激する興味深い作品に仕上がっている。

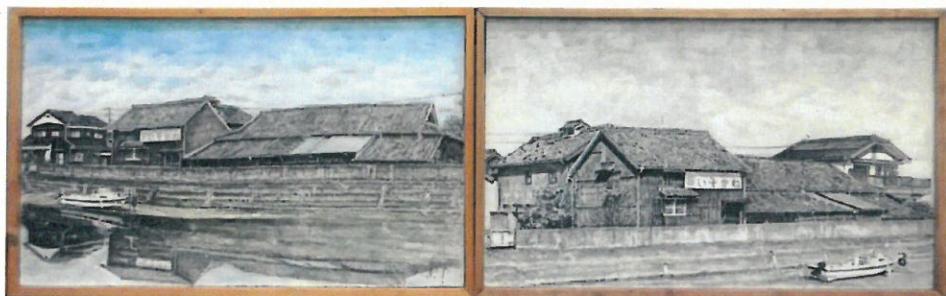
(倉田 研治)



## 山口文化協会賞

「昭和のなごり・漂う・I・II」

國重 英昭



タイトルが示すとおり、昭和の名残りが漂う風景をモチーフとして取り扱い、細かな線と淡い色彩で丹念に描かれている。古い店舗の看板や長い時間が経過した瓦屋根、護岸壁面のエイジングが、作品の趣をより一層深くしている。川面に映る家並みもまた空間の広がりを助長する効果がある。隣に見える現代的な家屋やエンジンボートを画面の中に取り入れることにより、時代の変化を強調している。この作品には、作者の現在を強く意識しつつ、時代を生きてきた人々に対する畏敬の念を感じる。

(上原 一明)

## おごおり文化協会賞

「黒楽蛇鰐茶碗（くろらくだかつちやわん）」

特に公募展では、それが工芸の展覧会であっても、小ぶりで地味、しかも多くのきまりごとに縛られる「茶碗」は評価が難しいものです。しかし、そこには日本人独自の美意識が存在するのであって、「茶碗」は茶を喫するためのただの器ではありません。

艶のない蛇鰐釉（だかつぐすり）のこの楽茶碗は、技巧に走らず整然たる作行きで、しかも穏やかで男性的な気品が漂っている優品である。

佐々木 克己



(木本 信昭)

## ◆ 総評

本年は昨年をやや上回る183点の作品の応募があり、出品者の年齢も6歳から89歳と幅広く、力作の揃った見応えのある展覧会になりました。

審査方法は先ず、5名の審査員が応募作品全体の傾向を把握し、それぞれの審査員が第1次審査で賞の推薦候補を挙げ、結果的に41点を選びました。さらに、多くの審査員の推薦のあった作品14点に絞り込み、技術だけでなくその作品に込められた思想やテーマ性などについて議論を繰り返しながら順次賞を決定していきました。

専門の違うそれぞれの審査員の意見を総合的に勘案しながらの審査ですから、結果的に第2次審査では賞の対象から外れる優れた作品も多く出ました。心苦しいかぎりです。

(審査委員長 木本 信昭)

---

(審査員)

生田 照代	梅光学院大学非常勤講師
上原 一明	山口大学教育学部准教授
木本 信昭	元下関市立美術館副館長
倉田 研治	山口県立大学国際文化学部准教授
原井 輝明	宇部フロンティア大学短期大学部准教授

(五十音順・敬称略)

## 平成28年度山口市美術展覧会受賞者一覧 (H29.3.1現在)

賞	部門	作品名	作者氏名	年齢
大賞	写真	ひるさが 昼下り	よしだ たかひろ 吉田 崇宏	48
準大賞	絵画	よみくに 黄泉の国へ…漂う力。 ただよかか	いおか よしとも 井岡 義朋	74
山口市教育委員会賞	写真	Uターン	おかもと こういち 岡本 公一	70
山口文化協会賞	絵画	しょうわ 昭和のなごり・漂う・I・II ただよ	くにしげ ひであき 國重 英昭	67
おごおり文化協会賞	工芸	くろらくだかつかちやわん 黒楽蛇蝎茶碗	ささき かつみ 佐々木 克己	89
奨励賞	絵画	しずかなとき	おだ ひろこ 小田 弘子	81
"	絵画	ぞうすざんげんえい 象頭山幻影	ときうら みちこ 時浦 道子	75
"	絵画	にゅうわ 柔和	にしさわ ゆう 西澤 佑	23
"	彫刻	かつぼう 渴望	はらだ ひかる 原田 光	22
"	書	やま ふゆ山	すえだ ふみこ 末田 文子	87
審査員特別賞	絵画	きぼうさんじゅ 希望—傘寿にして	やなぎさわ サトシ 柳沢 サトシ	80
"	絵画	ときとまる 時、止	ふじた ともみ 藤田 知美	29
"	書	えいじゅ 永寿	ますだ みどり 増田 美登里	40
"	写真	でばんま 出番待ち	すがの ともふみ 菅野 智文	40
"	デザイン	モディリアーニ	うえだ こうきち 上田 幸吉	54